

令和7年度 野々市市創生総合戦略推進会議 会議要旨

- 日 時 令和7年8月21日（木） 10時から11時
- 場 所 野々市市役所2階 ホール椿
- 次 第
- 1 開 会
 - 2 会長の選出
 - 3 報 告
 - （1）ののいちデジタル田園都市構想総合戦略の概要及び推進状況・総括について
 - 4 議 事
 - （1）地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）等（令和6年度）の効果検証について
 - （2）第3期ののいち創生総合戦略について
 - 5 委員からのご意見等
 - 6 閉 会

出席委員 (50音順)	池田 千可子 委員	垣坂 太佳盛 委員	北村 恒 委員	澤村 昭子 委員
	鈴村 隆一 委員	徳永 雄一 委員	飛田 和重 委員	浜 明 委員
	舟津 直光 委員	山口 誠 委員	山田 泰輔 委員	
事 務 局	山口副市長	栗総務部長	東地域政策部長	田村教育部長
	増山健康福祉部長	石畝都市整備課長	鶴見上下水道課長	荒木企画財政課長
	企画財政課職員			

会議内容（要旨）

1 開会

委員 12 名のうち、11 名が出席

資料確認

昨年度末で任期が満了となったことから委員全員の委嘱状を机上配布にて交付

事務局と委員の紹介

2 会長の選出

会長：金沢工業大学 情報デザイン学部経営情報学科 教授 徳永委員

副会長：石川県立大学 産学官連携学術交流センター長 橋谷田委員

3 報告（１）のいちデジタル田園都市構想総合戦略の概要及び推進状況・総括について

事務局より資料 1、2 に基づき説明

徳永会長：

資料 2 の横断的な戦略【施策 1】デジタル技術の活用の指標「デジタル技術も活用し相談援助等を行うことも家庭センターの設置」について、令和 6 年度の評価として「未設置」となっている。これについてもう一度説明をしてもらいたい。

事務局回答：

令和 7 年 4 月に「子育てステーション」という名称の施設を開設したが、今回の行政評価は令和 6 年度末時点のものであるため「未設置」扱いとなっている。今後は Web 相談などデジタル技術の活用による支援の実施に向けて検討を進める。

山口委員：

米国の関税の対策について検討していることはあるのか。

事務局回答：

市商工会とも意見交換をさせていただいている中で、現在は本件に関する相談はないと聞いている。今後は商工会や金融機関とも連携しながら、必要な支援を行ってまいりたい。

山田委員：

（１点目）「出生数」や「コミュニティバス利用者数」の指標について、目標値に届いていないため「目標との差が見られ、改善の検討が必要」と評価されているが、実績値としては高いと思われる。市として感じている課題感があるのか。

（２点目）ホームページのプレビュー数の数値が高いが、分析などは行っているのか。また、市としてどう感じているのか。

（３点目）横断的な戦略の総括欄記載のデジタル分野に知見を有する企業との包括連携協定締結内容について、内容を補足してほしい。

事務局回答：

（１点目）

出生数については、経済的な要因や価値観の変化など様々な理由から全国的に減少傾向にあり、本市でもその影響を受けている。市としては、「子育てステーション」などの環境整備といった出生数を維持するための取り組みを進めている。

コミュニティバスの利用者数については、働き方改革による運転手の労働時間の短縮や便数の減少、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う利用者数の減少などにより、目標値に届かなかったと思われる。

事務局回答：

（２点目）

ホームページは、毎月ページごとのアクセス数について集計を行っている。例えば、先月では、じょんから祭りなどのイベントが行われる際には、プレビュー数が増える傾向が見られる。

また、令和３年・４年は新型コロナウイルス感染症関連の内容が多く、プレビュー数が突出しているが、全体的には横ばい。理由としては、近年では SNS での情報発信を強化しており、ホームページを介さないでも情報を取得できるようになってきていることが考えられる。しかし、SNS では簡潔な情報にとどまるため、詳細はホームページを見ていただくように誘導し、魅力あるホームページ作成に努めていきたい。

事務局回答：

（３点目）デジタル分野に知見を有する企業とは N T T 西日本。生成 A I の活用のための職員研修を実施いただき、現在では生成 A I を使った文章作成などを利用している。

４ 議事（１）地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）等（令和６年度）の効果検証について

事務局より資料３－１、資料３－２、資料３－３に基づき説明

徳永会長：

資料３－２、資料３－３ともにワークショップの開催という記載があるが、これらは同じ事業か異なる事業か。

事務局回答：

同じ事業になる。企業版ふるさと納税も充てながら国の交付金も充てている。

徳永会長：

資料３－２の KPI に関して別紙資料のとおりと記載してあるが、この計画自体の KPI はないということか。

事務局回答：

こちらの野々市市まち・ひと・しごと創生推進計画の KPI については、総合戦略に記載している全ての KPI を対象としている。ワークショップなど、SDGs 未来都市の KPI に特化したものではない。来年以降も未来都市だけではなく、様々な総合戦略に基づく取組を行っていきたいと考えている。

事業の評価

徳永会長：

「賑わい創出による創業マインドの育成計画」、「野々市市まち・ひと・しごと創生推進計画」および「小中高大連携による持続可能なインパクトシティののいち創生事業」に基づく事業について、それぞれ創生総合戦略の K P I 達成に有効であったと判定してよろしいか。

委員：異議なし

徳永会長：

異議なしのため、どちらも有効であったと承認する。

4 議事（２）第３期ののいち創生総合戦略について

事務局より資料４－１、資料４－２に基づき説明

特に質問なし

5 委員からのご意見等

特になし

6 閉会